



はきものをそろえる



前任校である御坂西小学校には、2012～2013年度には6年・5年の担任として勤務していましたが、その時には掲示されていなかったのですが、昨年度教頭として御坂西小戻ってきたら、児童玄関に左記の詩が掲示されていました。「はきものをそろえる」という詩です。読んだ時に、「いい詩だなあ。御坂西小では、こんな取り組みを進めているんだ…」ってことを思い、全校で540人もいる学校で、どのくらい意識している子どもがいるのか、玄関を気にしていたことを思い出します。

今日配布された4年生の学年だより「煌～きらめき～」に、こんな記事が書いてありました。以下抜粋です。

22日(金)に、峡南衛生組合・釜無川浄化センター・鵜沢警察署を見学してきました。どの見学場所でも質問をたくさんしたり、真剣に学習したり、マナーも良く一生懸命で素晴らしい態度でした。鵜沢警察署では「靴や荷物をきれいに並べていて早川の子どもたちはすごい！素晴らしいね！」と褒められていました。

靴をきれいに並べていての文字を読んだ時に、御坂西のあの詩を思い出しました。この詩は、終戦直後から戦災孤児救済運動を推進した、長野市にある円福寺住職、藤本幸邦さん(1910～2009)が書かれたものです。

はきものをそろえるという簡単なことをしてみよう。誰かのはきものが乱れていたら、黙ってそっとそろえてあげよう。ひとつの小さなことを整えることで、心も整えられるという素晴らしい詩ですね。はきものをそろえる人がひとりでも増えれば、そんな子どもがたくさん育てば、世の中は、もっともっと住み心地の良いものになるでしょうね。本校の児童玄関のはきものは、概ねそろえて入っています。また、本校のトイレは入口でサンダルに履きかえることになっていますが、サンダルは比較的きれいにそろって並んでいます。この良い状態が続くよう、毎朝玄関で子どもたちを出迎えていますが、はきものをそろえる声掛けをしてみようかなあと考えています。

最後にそろえ方についてです。漢字では「揃える」と書きますが、てへん(扌)に(前)と書きます。手を前に出して揃えなさいという意味です。「靴をそろえるのは苦痛」だなんていう寒いダジャレを言ってる場合ではないですね。足で揃えるのではなく、気持ちを込めて手でそろえてほしいと思います。お家でのお子さんの様子、気にかけていただければ幸いです。

諸連絡

○HP上にUPしている学校行事の写真ですが、大きく拡大してプリントアウトした物を掲示します。

6日(金)の授業参観・懇談会の折にでも是非ご覧になって下さい。

ベルギー戦が楽しみです。歴史を変えられるか！頑張れ日本！!(^^)!